



## 社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院

### レセプト博士Type IIの導入から7年を経て、レセプト博士NEOへのアップグレード！ 病院設定チェックを最大限に活用することで審査支払機関の動向に対応し、 個人の技能に左右されない、安定したチェックレベルを維持しています。

#### Q 「レセプト博士」を導入したきっかけを教えてください。

当院では医事課の目標として「常に業務の効率化を意識する」、「個人の技能に左右されず常に適正な請求を行なう」を掲げています。従来の月初め集中型のレセプト点検の場合、提出期日に追われ点検精度が落ちてしまうという課題と担当者の経験年数により、点検のレベル差が生じてしまうという課題がありました。そこで、請求業務を月初めだけの特別な業務ではなく受付窓口と同じ日常業務と捉え、週に1回点検業務を行うことで効率化し、点検精度の向上と適正な請求を行うためにレセプト博士を活用してみようと導入を決定しました。

#### Q 「レセプト博士NEO」へアップグレードしたきっかけを教えてください。

平成21年のDPC請求開始に伴い、医事システム内蔵のDPCチェック機能で簡易的なチェックのみを行っていましたが、審査支払機関の縦覧・突合点検が始まったことで、さらにチェックの強化が必要と感じていたところ、レセプト博士NEO PREMIUMとレセプト博士NEO Dentalの登場を知り、合わせてアップグレードすることにいたしました。

#### Q 「レセプト博士」の導入効果を教えてください。

導入当初は「算定チェック」のみ活用しており、査定率は0.47程度でしたが、標準のチェックをかけているだけでは不十分と感じていました。そこで本格的にレセプト博士で運用するために、3ヶ月を目安として紙レセプトを廃止しレセプト博士の運用に完全切り替える計画を立てました。

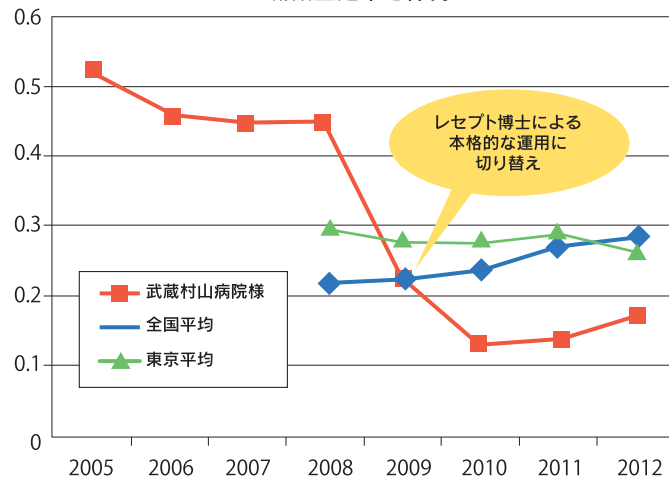
メンテナンス担当者が、医事課スタッフに警告として見たいチェックはないかヒヤリングを行い、病院設定を次々と作り込んで行きました。

今ではレセプト博士でのみレセプトチェック業務を行う運用になり、徐々に個人のチェックレベル差による査定は減少しております。当初メンテナンス担当者1名で設定を行っていま

したが、スタッフの正確なレセプト作成への意識の高まりにより、メンテナンス担当希望者も増えてきました。また、スタッフから設定の要望や疑義確認が活発になるなど、意識改革につながる喜ばしい出来事がみられます。また、随時メンテナンスを行っていく事で、より病院の運用に合ったチェックが行えるようになりました。

他にも、個人のチェックレベルで見落としがちな点検項目（薬剤の用量警告、一部負担金誤り等）に警告メッセージが表示されるため確認ポイントが明確になり、効率よくレセプト点検を行なうことが可能になりました。さらに、医事システムでポイントを絞った病名との相互チェックを行い、「レセプト博士」でチェックを行うという、2重チェックを行う体制に強化したことにより、審査支払機関の突合・縦覧点検が開始となつてからも査定率は安定しています。

減額査定率を保持



#### Q 残業時間の変化はありましたか。

医事課スタッフ全員でレセプト業務を行います。定期的にルーチンで行っています。もともと残業は少なく月1人あたりの平均は20時間程でしたが、レセプト博士の導入により5時間以上減少しました。



「レセプト博士」の毎月の活用方法とスケジュールを教えてください。

## ■出来る限り警告を出すよう設定

医事課内でヒヤリングをしてチェックをしたいと思われる項目は病院設定を作って出来るかぎり警告として出すようにしています。全体では、週に1回程度、点検リストを出力して確認を行い、個別では透析・公費などの分類に分け、それぞれの担当者が随時、出力点検を行なっています。

また月初めにおいても前月分と平行して当月分の確認を行なう方式を新たに取り入れ、臨床上の流れを損なわない整合性のあるレセプト作成に努めています。

## 『レセプト博士』の毎月の活用方法とスケジュール

1～10日……………「点検レセプト」にて全件チェックを行う  
当月請求分のデータの確認とともに、  
今月チェック分の整合性を合わせてチェック

10～17日……………「点検リスト」をもとにチェック  
疾患マスタ・病院設定の修正

17～24日……………「点検リスト」をもとにチェック

24～30日……………「点検リスト」をもとにチェック  
透析・公費など：随時(各担当で行う)

レセプト博士担当: 2～3人

レセプト点検業務: 医事課全員(外来は15名)で担当

## 運用のPOINT

- 月初め(10日前まで)は、前月分のデータを含んで確認し、請求前の前月分と今月分の整合性を合わせてチェックする。
- 設定要望をチェック業務を行うメンバーから聞き取り、随時マスタチェック・病院設定チェックを検討・設定・確認テストを行う

## ■マスタの管理方法

精度を維持していくために定期的に担当チームによるマスタのチェック・病院設定のチェックを行なっています。設定要望に関しては随時聞き取り、担当チームが1両日中に検討および、設定を行い確認テストをしています。



「レセプト博士」で活用している機能はありますか。

基本的なチェック機能の信頼性はもちろんですが、特に人気の機能が「病院設定」です。パッケージソフトは設定に制約が多いものと思っていましたが、「レセプト博士」は電子カルテ、医事システムで未対応のものや複数条件の組み合わせが、すぐに自院で作成できるので大変便利です。

設定画面も馴染みのある診療報酬明細書様式なので直感的に操作ができますし、コード化されたものはもちろん、コメントも含めて自由度が高いため、ほぼイメージ通りの設定が可能です。

導入当初は設定を間違えて作ってしまうという失敗もありましたが、現在では算定誤りだけでなく病名・薬剤から推測する算定可能指導料の洗い出し、コメント・日付エラーの抽出、その他「公費番号と負担金の相関チェック」「内視鏡下生検法と病理組織数」「転帰欄の相関チェック」といった確認用なども含めて、約280の病院設定を活用しております。

上手く活用するための意識として、出来るだけ多くの設定を作成できるように正しい算定知識を身に付けておくこと、常に通知・疑義解釈等の情報収集を怠らないことを心がけています。



歯科チェック機能についてはいかがですか？

医科と同じインターフェイスのため操作に問題はありません。今後は医科同様に活用していきたいと思っています。

## 病院PROFILE

## 社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院

- 所在地：東京都武蔵村山市榎1-1-5
- 病床数：300床
- 診療科：15科[内科、皮膚科、小児科、産婦人科、整形外科、呼吸器外科、消化器・一般外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、病理診断科、歯科、リハビリテーション科、麻酔科]
- URL：<http://yamatokai.or.jp/musasimurayama/>
- 電子レセプト本請求開始 …………… 平成21年2月
- 歯科電子レセプト本請求開始 …… 平成23年1月
- レセプト博士使用開始 …………… 平成17年7月
- レセプト博士NEO 使用開始 …… 平成24年8月

